

広島・草戸千軒町遺跡

1 所在地 広島県福山市草戸町

2 調査期間 第三二次調査 一九八三年(昭58)二月～一九八四年(昭59)三月

3 発掘機関 広島県草戸千軒町遺跡調査研究所

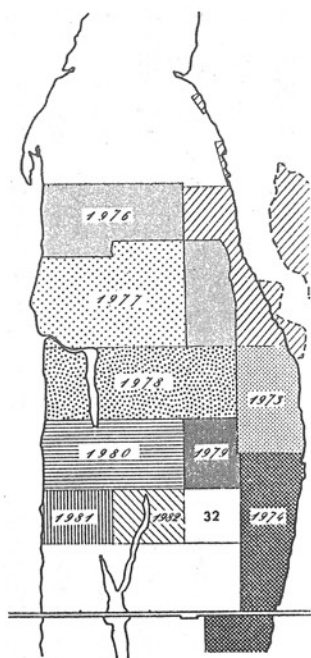
4 調査担当者 代表 松下正司

5 遺跡の種類 集落跡

6 遺跡の年代 平安～江戸時代(中心は主として鎌倉・室町時代)

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

第三二次調査区は中州中央部で、昨年度実施した第三一次調査区の東にあたり、東西三〇m×南北三〇mの九〇〇㎡である。また、



第32次調査区位置図

調査区北東部に拡張区(東西二〇m×南北一〇mの二〇〇㎡)を設定し、第三二次調査で検出した突堤状石積遺構の下部を調査した。検出した主な遺構には柵・建物・溝・池・土壇・墓壇などがある。

今回の調査区は、以前の調査で確認した鎌倉時代の南北溝三条が平行に走っていることから、当該期の居住区の東限地域と考えられ、また、中州東部で検出した室町時代の南北溝群と西側の柵囲いなどを結び地域にあたっており、町の様相を解明する上で重要な位置を占めている。

墨書木札類には中世木簡や柿経・御札などがあり、SD六二〇・一三七五溝やSG二八一〇池から出土している。

SD六二〇溝は調査区北東部の拡張区で検出した南北溝で、突堤状石積(SX六〇〇)の下部で検出した。以前の調査の結果、全長二二m×幅三・〇～四・五m×深さ約一・〇mで、溝底に木質の堆積していることが判明している。溝内から中世木簡(1)と御札(2)が出土した。室町時代前半である。SD一三七五溝は調査区中央部で検出した南北溝である。幅三・八～四・四m×深さ〇・七～一・〇mで、以前の調査で検出した部分を含め計七八m以上になる。溝の底部に堆積した暗灰色粘土中から大量の加工木が出土した。なかでも調査区の南端付近では「木舞」と考えられる格子状建築部材、鼻縁、運搬用具と考えられる担架状木製品など建築に関する木製品が多数出土した。なお、格子状建築部材のなかには文字を記したもの(3)も

(8) もあった。鎌倉時代である。SG二八一〇池は調査区南東部で検出した池で、東西八・〇m、南北九・〇m以上、深さ〇・九～一・二mを測る。池の北肩および東肩には護岸石積があり、池の上部には礫が詰まっており、後に埋立てられたと考えられる。下部には暗灰色粘土が堆積しており、柿経(9)～(13)などの木製品は主としてここから出土した。室町時代後半である。

8 木簡の积文・内容

今回出土した墨書、木札類については、現在整理検討中であるため概略を記すにとどめる。中世木簡はわずか一点で、大半は柿経や格子状建築部材などの用途が明瞭な木製品に墨書のあるものである。以下、主なものを紹介する。

SD六二〇

- (1) □□の廿一」 (125)×31×18 144
- (2) 「大般若経轉讀× (154)×44×6 173

SD一三七五

- (3) 「ミかねくきひ□□ (1764)×31×5 193
- (4) □□□郎 (1537)×37×6 193
- (5) 「ミしく□□道□也」 1860×40×5 193

- (6) 「ミしのく×」 1905×37×8 193

- (7) 「ミし□×」
〔成カ〕 1907×40×8 193

- (8) 「ミしく□×」 (1761)×28×6 193

SG二八一〇

- (9) ・×□□我有大乘名□諸×

- ・×□□逝母□□上古調× (34)×10×1 172

- (10) ・×法華経大□□×

- ・×法□□是經典□□× (52)×14×1 172

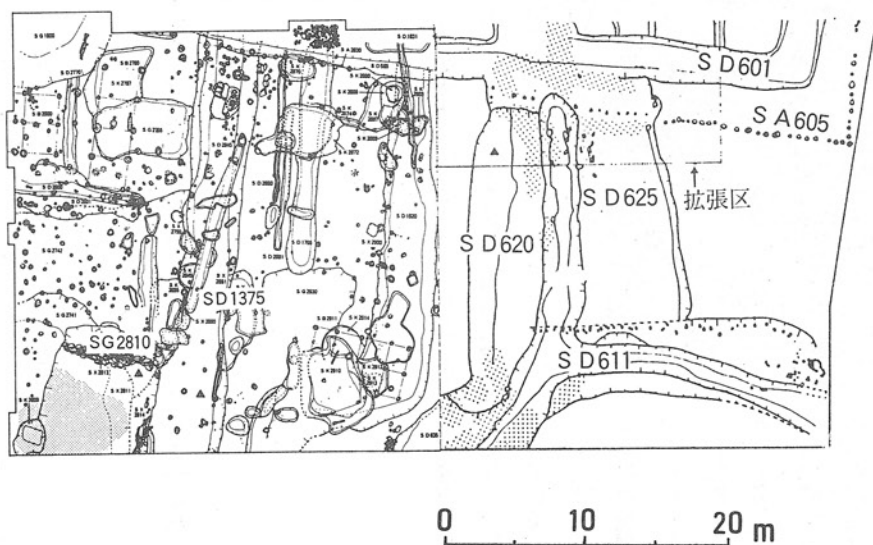
- (11) ・×〔成カ〕就當□×

- ・×□□菩薩× (30)×14×1 172

- (12) ×菩提記× (27)×12×1 172

- (13) ×□□□羅× (30)×12×1 172

(2)は最近各地の中世遺跡から出土しているいわゆる転読札である。下部を欠損しているためその用途は明らかにしがたい。なお、中州南端の第一五次調査で室町時代後半のSD七六〇溝から転読札一点が出土している。(3)の「かねくき」は鉄釘のことであろうか。柿経



第32次調査遺構図

は数十点出土したが、大半が細片のため判読は困難である。なお、東接する第一三次調査区のSD六二〇溝から法華経を書写した柿経が一〇点出土している。このほか今回の調査ではSD一三七五溝から長方形の材と推定できるものに墨で線を引いた(間隔は三・一cm、二・〇cm、三・〇cm、三・五cmである)物差状の木製品が出土している。

9 関係文献

広島県草戸千軒町遺跡調査研究所『草戸千軒町遺跡―第三二次発掘調査概要―』(広島県草戸千軒町遺跡調査研究所年報一九八三、一九八五年三月刊予定)

福島政文『草戸千軒町遺跡第32次調査概要』(調査研究ニュース『草戸千軒』No.130、一九八四年)

同「特集 春季特別公開展「草戸千軒町遺跡一九八三年度出土の主要遺物」(調査研究ニュース『草戸千軒』No.131、一九八四年)

岩本芳幸「資料紹介 第32次調査出土の格子状建築部材」(同右一九八四年)

(小田原昭嗣・志田原重人)